
公益社団法人日本交通政策研究会

道路課金シンポジウム

-効率的で持続可能な道路財源制度-

平成 24 年 2 月

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、公益社団法人日本交通政策研究会では、下記のとおりシンポジウムを開催いたしますので、ご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますようご案内申し上げます。

1. 開催趣旨

道路特定財源制度が廃止され、また、償還後の無料開放を前提とする有料道路制度の見直しが議論の対象となる中で、新たな道路財源制度の確立に向けた検討が必要になっています。諸外国で導入されつつある各種道路課金にも、混雑緩和など交通需要を管理するだけでなく、自動車保有税、燃料税に代わる安定的な財源としての役割が期待されています。

欧州ではかねてより交通に伴う環境問題には関心が高いわけですが、国際トラック交通の外部不経済の内部化、高速道路の財源調達のために対距離課金が導入されつつあります。また、一般道路の乗用車を対象とする道路課金も検討され始めています。

米国では燃料税収入が連邦、州における道路財源となってきましたが、近年の燃費の向上で収入が減少しており、新たな財源調達手段として有料道路・有料レーンが新設されています。対距離課金に関する検討も始まっています。

シンガポールはロードプライシングを世界で初めて導入した都市ですが、高速道路も含めて課金額を定期的に変更して道路ネットワークを有効活用できています。2012年5月からは現在の DSRC 方式を GPS 方式に変え、より厳密に道路ネットワークを最適管理できる仕組みを確立すべく実証実験を実施する予定です。

本シンポジウムでは、「効率的で持続可能な道路課金制度」と題して、世界の道路課金の新しい動きをレビューし、我が国の今後の道路財源制度のあり方について議論を深めていきます。

2. 開催日時 平成 24 年 3 月 22 日（木）14:00~17:00

~~3.~~開催場所 都市センターホテル（日本都市センター会館内） ~~6F-606号室~~

3F コスモスホール I へ変更となりました。

4.

東京都千代田区平河町 2-4-1 TEL: 03-3265-8211

アクセス：有楽町線 [麴町駅] 1 番出口（半蔵門方面出口）より徒歩約 4 分
有楽町線・半蔵門線「永田町駅」4 番・5 番出口より徒歩約 4 分

南北線「永田町駅」9番出口より徒歩約3分
丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」より徒歩約8分
JR「四谷駅」麴町口より徒歩14分

4. 主催 公益社団法人日本交通政策研究会

5. 参加費 無料

6. お申し込み

会場の入場者数には限りがございますので、おそれいりますが、当研究会ホームページ
(<http://www.nikkoken.or.jp/>) から3月15日までにお申し込みください。

*定員に達しましたら、締め切らせて頂きます。

7. プログラム

- 14:00~14:05 開会挨拶 太田勝敏氏(当研究会代表理事、東洋大学教授)
- 14:05~14:30 本テーマの趣旨、問題提起1 道路課金の目的と課題
根本 敏則氏(当研究会常務理事、一橋大学大学院商学研究科)
- 14:30~14:50 問題提起2 欧州の道路課金制度の動き
今西 芳一氏(公共計画研究所)
- 14:50~15:10 問題提起3 米国の道路課金の現状と動向
塚田 幸広氏(国土交通省 国土技術政策総合研究所)
- 15:10~15:30 問題提起4 シンガポールの次世代ロードプライシング実験
尾関 敏行氏(三菱重工業(株) 交通・先端機器事業部)
- 15:30~15:40 休憩(10分)
- 15:40~17:10 パネルディスカッション
討論者 根本 敏則氏(当研究会常務理事、一橋大学大学院商学研究科)
今西 芳一氏(公共計画研究所)
塚田 幸広氏(国土交通省)
尾関 敏行氏(三菱重工業(株) 交通・先端機器事業部)
コーディネータ 太田 勝敏氏(当研究会代表理事、東洋大学教授)

* 討論者との質疑応答を予定しております。

* プログラムは予告なく変更される場合があります。

お問い合わせ先

公益社団法人日本交通政策研究会 〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-12-6 守住ビル 4階

TEL : 03-3263-1945 E-mail : event@nikkoken.or.jp

FAX : 03-3234-4593 Website : <http://www.nikkoken.or.jp/>